

## 【教育目標】

ふるさと野沢温泉村を心に刻み心を世界に拓き 心豊かな人間性を育む教育

## 【願う子ども像】

低学年：豊かな自然の中で好んで体を動かし、友だちを呼び込んで遊びをつくり、学びを楽しんでいる子ども。

中・高学年：物や事に触れて、興味・関心を引きおこし、自ら追究し友と共に学ぶ楽しさや喜びを見出していける子ども。

## 学校教育目標

やさしく かしこく たくましく

## めざす子どもの姿

- 1 たがいに律し合い、思いやりのある子ども
- 2 課題をもって友と共に追究する子ども
- 3 自ら進んで心と体を鍛え、やりぬく子ども
- 4 熱中して学び、頑張った自分に気付ける子ども

## 子どもの姿

- 地域を愛し、関わり、ひと・もの・ことから学ぶ。
- 素直で明るく伸び伸びと行動する。
- 思いやりがあり、友達を大切にする。
- 任されたことに対して責任をもってことにあたる。
- 外国から来る友達やお客さんに対して、分け隔てなく交流する。

## 重点目標 熱中して学ぶ教育活動の推進 「学習する子どもの視点に立った授業づくり」

### 1 考えを聞き合う。「聴く 聞く 訊く」

自分と他者を同時に考える表現でコミュニケーション。

元気なあいさつを交わし合う。人を大切にする関係づくり。相手をおもいやる。自分のことを話し、伝える。

### 2 子どもの問い（疑問、気づき、共有）から展開し、「どうしてそうなのか」を見つめる学習づくり。

安心して学び合える学級集団づくり。協同的な学び合い学習。自分の考えを持ち表現する。ICTの活用。

追究のよさやできるようになったことの自覚を促す振り返りの場面の充実。

### 3 体づくり、学習習慣づくり、心づくりでやりぬく。

体力アップ、マラソン、スキー学習、保健、食育、家庭学習や自由勉強に取り組む。自分の目標に向かってがんばる。

## 地域と共に

- 「学園だより」「広報」「学年だより」等で保護者、地域と情報共有をする。
- 開かれた学校づくりの推進。
- 地域ボランティアと一緒に活動。
- 学園授業研究会を公開する。
- 学校評価アンケートを実施し、改善を図る。
- 信州型CSの推進。

## ふるさと学習

- 全学級で「ふるさと学習」を中核活動として位置づける。
- ・地域の素材（ひと、もの、こと）を活用する。
- アルペン、クロススキーの魅力を味わうスキー授業。
- 英語学習の充実。
- 地域の方や外国の方との交流。毎日のイングリッシュタイムで英語の言語活動。

## 授業改善

- 学び合い（小グループ学習）。
- ・「分からない」と言える教室。
- ・自分と違う視点を認め合える。
- ・学びを振り返る。・ICT活用。
- 学力調査の結果分析を活用する。
- 家庭学習の工夫。
- 異学年との関わり合いを深める。
- ・遊びの時間、縦割り班活動、小中合同集会、他学年との学習活動、こども園との交流。

## 保護者との連携

- ・各おたより等で情報を共有し、家庭、地域に学校を開きます。
- ・信州型CSの活動で積極的に家庭、地域の方とつながり、共に子どもを見守り育てます。
- ・保護者と共有したいことや学校であったことについては速やかに連絡を取り合います。
- ・教育相談の充実を図ります。

## 学校生活

- ・体験学習や探究的学習を通して、ふるさと学習に取り組みます。
- ・元気なあいさつや歌声が響き合う学校づくりに取り組みます。
- ・イングリッシュタイムや英語学習の充実を図り、英語を使う言語活動に取り組みます。

## 土台作り

- ・安心感のもてる学校、学級づくりに取り組みます。
- ・健康な心と体づくりに取り組みます。体力向上 食育 保健指導 生活相談
- ・自分の思いを伝え、思いやりをもって聞くことを大切にできるように取り組みます。
- ・子どもの思いや課題に対して、全職員がチームで対応をしていきます。

## 野沢温泉学園 研究テーマ

「ゆたかな学びを創造する子どもと教師」

～対象（ひと・もの・こと）に主体的に働きかけ、学び合う学園～